

# プラスだより 最終号

令和7年3月

ご卒業おめでとうございます！

朝晩の冷え込みも和らぎ、子どもたちと過ごす毎日にも明るい春の陽ざしを感じられるようになってきました。3月は1年の締めくくりの時期となりました。子どもたちはこの1年間、心も身体も一回り大きく成長されましたね。毎日元気に『ただいま』と帰ってくる姿に私たち職員が元気をもらっていた日々でした。保護者の皆さまには、温かく見守っていただきありがとうございました。来年度も引き続き、子どもたちが楽しく過ごせるように、職員一同精一杯務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## 備えあれば憂いなし

2月10日(月)くれよんプラスの職員で救命入門講習を受講しました。奈良富雄分署の方が来て下さり、心肺蘇生法とAEDの使い方を教えていただきました。10年以上前に救命講習を受けた職員も新しい救命方法に驚いていました。以前は行われていた人工呼吸法はコロナ化より中止されているようで、今回は心肺蘇生法を一人ずつ行いました。見本を見ているのと実際行うのでは、全く違いました。メインの胸骨圧迫を100回しましたが、初めの20回くらいまでは難無くこなせた胸骨圧迫も、50回を超えてくるとかなりしんどさが出てきました。一定のリズムと力加減が難しく、この研修で取り組めたことは良かったなと思いました。

そして、AEDの使い方については、大事なことは音声に従うことではありますが心肺蘇生法と同時に扱うことになるため、AEDの担当になった場合はそこに集中し、胸骨圧迫をしている人との連携が最重要課題だということをお教えいただきました。想像の中の人命救助が、実際に体験することで気づける色々なことに気づけた有意義な時間でした。来年度もこのような研修を受講する機会を設けて、有事の際に落ち着いて対応できるように日頃から備えていきたいと思っています。今回の研修で学んだことは活かすことなく過ごしていきたいですが、万が一の際には役立てていけると思います。また、事務所にAEDがあり、消火器、災害備蓄品も備えています。年度末などの時には職員で防災のことを話し合い、いざという時のために備えています。

また、子どもたちとは毎月定期的に行っている避難訓練で、『おかしもち』と『いかのおすし』を繰り返しお伝えし、今では絵カードを見て子どもたちから「おさない」「かけない」「しずかに」「もどらない」「ちかよらない」と答えられる姿があります。何事も備えあれば憂いなしのことわざ通り、備えておけば安心ですね。

今後も子どもの安全を見守りながら過ごしていけるように必要な知識などを取り入れていきます。